

平成 21 年 6 月 30 日現在

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2005～2008

課題番号：17520238

研究課題名（和文） 小説の映像化による物語構造の変容と時代を軸としたメディア表現に関する考察

研究課題名（英文） STUDY ABOUT STORYSTRUCTURE OF TRANSFORMATION BY VISUAL AND MEDIA-EXPRESSION BY CONECTING WITH AGE

研究代表者 江藤茂博

二松学舎大学・文学部・教授

研究者番号：80213552

研究成果の概要：①小説が映像化されて映画やテレビドラマとして提供されている現実をデータとして把握した。②具体的な言語表現による作品の映像化に関する分析を行った。③小説の映像化作品も含めた日本の映画やテレビドラマの世界的な広がりを違法コピー市場を中心に調査した。

交付額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2005年度	500,000	0	500,000
2006年度	300,000	0	300,000
2007年度	300,000	90,000	390,000
2008年度	300,000	90,000	390,000
年度			
総計	1,400,000	180,000	1,580,000

研究分野：

科研費の分科・細目：

キーワード：物語構造、三項鼎立、物語性、物語変容、目的・援助・妨害

## 1. 研究開始当初の背景

小説や物語の分析理論はさまざまな試みが積み重ねられてきたが、映像理論はまだその物語における言語性に関してはさほど高い認識はなかった。そこで、映像の物語における言語性を手がかりに、物語研究の新たな領域を切り開こうとした。

## 2. 研究の目的

小説などの言語表現の映像化による物語構造の変容についての研究を行うことで、新たな物語理論構築の可能性を探ることと、実際に映像化がどのような状況なのかを具体的に探ること。

## 3. 研究の方法

すでに発表されてきた各物語理論の検討と応用による、分析概念の活用と応用。

## 4. 研究成果

基本的には、a理論系（物語理論を応用した作品分析）、bデータ系（テレビドラマ番組誌からのデータ抽出）、c調査系（違法コピーDVD等のアジア・アメリカ・オセアニアでの現地調査）に分けられるが、それぞれを著作等で発表。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 件)

〔学会発表〕(計 1 件)

江藤茂博 有島武郎「或る女」とその映画化、有島武郎研究会 2008年6月14日 二松学舎大学

〔図書〕(計 5 件)

江藤茂博 科学研究費補助金 研究成果報告書 2009年3月20日 48p

江藤茂博 双文社出版 20世紀メディア年表 2009年2月20日 240p

江藤茂博 戎光祥出版 オタク文化と蔓延する「ニセモノ」ビジネス 2008年10月10日 272p

江藤茂博(編・著) 戎光祥出版 宝塚歌劇団スタディーズ 2007年9月10日 418p

江藤茂博 勉誠出版 映画・テレビドラマ原作文芸データブック 2005年7月29日 371p

〔産業財産権〕

○出願状況(計 件)

○取得状況(計 件)

〔その他〕

6. 研究組織

(1) 研究代表者

江藤茂博 二松学舎大学 文学部国文学科教授

(2) 研究分担者

(3) 連携研究者